別紙２－２

校外教育活動リスクチェックシート

【海洋活動編】

【対象となる活動】
・海や河川等で水の中に入る活動
・カヌー、シーカヤック　等
（具体的な活動の例：焼津や三保、伊豆などで行う海洋活動　等）

記載日　（　　年　　月　　日）
学校名　（　　）
校長名　（　　）
記載者名（　　）

（１）海洋活動指導者等の配置と役割分担

□海洋活動指導者が必要か検討した。
→□配置する
・海洋活動指導者の人数
（　　人／　　学級）
・打合せの日時
（　　月　　日　）
※未定の場合は、概ねの日にち
→□配置しない
→□教職員のみで対応できる体制ができている。
→□その他の理由（　　）
□様々な状況について、教職員と海洋活動指導者等の役割を明確に分担している。

（２）事前指導・事前準備

□海のもつ危険性（止まっているようでも流されている、急に波が高くなることがある）について伝えた。
□児童生徒が海洋活動指導者等からライフジャケットの着用や活動時の安全対策等の事前指導を受ける計画になっている。（または受けた）
□海洋活動指導者等からの指導を踏まえて、活動の直前にも安全対策等の確認をする時間をとっている。
□天候不良等による実施の可否の判断基準を決めている。

（３）現地での連絡体制

□海洋活動中の教職員間の連絡体制ができている。
→連絡方法（　　）
□児童生徒の事故や怪我、天候の急変等、緊急時の教職員の役割分担ができている。
□最寄りの病院、警察、消防等の連絡先を把握している。